

50年以上読み継がれている素敵な絵本です。

『こねこのぴっち』（岩波の子どもの本）

ハンス・フィッシャー／おはなしとえ 石井 桃子／やく 岩波書店 1954年
（改訂新版 2001年）756円

＜お勧め年齢＞

- ・乳幼児☆☆☆
- ・低学年☆☆
- ・中学年 --
- ・高学年 --
- ・中学生--
- ・高校--
- ・一般--

（☆が多い年齢の子どもにお勧めです。）

＜本の紹介＞

りぜっとおばあさんの2匹の猫が、5匹の子どもを産みました。そのうちの1匹、ぴっちは、他の4匹とは違い、りぜっとおばあさんの飼っている他の動物の真似ばかりしています。そして、ついにはうさぎ小屋に閉じこめられてしまいました。

＜子どもに手渡す時のポイント＞

1954年に岩波の子どもの本から出版後、1987年に同じく岩波書店から大判の絵本が出版されています。表紙の絵と色は違いますが、内容は同じです。岩波の子どもの本が20cm程度×16cm程度なのに対し、大判は、縦は子どもの本より少し大きいくらいですが、横が30cm以上となっています。同じおはなしと絵ですが、レイアウトが異なる部分も多く、機会があれば読み比べてみて、その時々合った方を子どもに手渡せるとよいと思います。

また、どちらにも美しい絵だけのページがあります。それらのページはぜひじっくり時間をかけて子どもたちと楽しんでください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村さやか

